

令和3年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	廿日市市立大野東中学校	校長	田浦由紀夫	生徒指導主事	中次伸彦
-----	-------------	----	-------	--------	------

取組事例名	『東フェス Try Angle ～1人1人が輝く東祭～』
-------	------------------------------

取組における育てたい資質・能力					
-----------------	--	--	--	--	--

人間関係形成		社会参画		自己実現	
絆づくり・自己有用感	1	主体性・自主性	2	夢や志をもつ	3

取組のねらい					
--------	--	--	--	--	--

- ・仲間と協働的に取り組むことで、クラスの団結力や共有感を深め、学校生活の充実や発展を図る。
- ・係活動や学級での役割を担うことで、一人一人に「自覚と責任」を持たせ、主体性や自主性を育む。
- ・仲間と目標を目指し、協働的に取り組むことで、達成感を共有する。

取組の具体的内容	取組の創意工夫 『キーワード：つながり』
----------	-------------------------

◇体育的行事

学年単位で時間を分散し、クラスマッチ形式で体育祭を実施した。障害物競走などの個人種目に加え、リレーや大縄跳びの団体種目を実施した。限られた練習時間の中で、生徒一人一人が力を合わせ、一生懸命取り組む姿がたくさん見られた。



○目標や志を共有！

各学級において、一人一人が意気込みや仲間への応援メッセージを「フレフレレコード」に記入し、縦割り集団ごとに掲示した。



◇文化的行事

教科、委員会、部活動等による展示物を体育館等に展示した。その中には、全校で作成した折り鶴をつかった「平和」のアート作品、校内適応指導教室に通室する生徒が作成した、ちぎり絵のハロウィンアートも展示した。



○コロナ禍でも全校で！

1, 2年生による「ボディパーカッション」、生徒会による「モチベーションムービー」、教職員による「ハカ」を通して、互いにエールを送った。



取組の成果と課題

○取組後に実施したアンケートでは、「学校が楽しい」と感じている生徒が89%となり、1学期に比べ5%上昇した。また、「夢や目標がある」と答えた生徒は77%となり同比較2%上昇した。

●新型コロナウイルスの影響に伴い、異学年交流や関わり合いが十分にできない。従来の考え方にしばられず、ICTを活用した取組を含め、生徒の心を育むための取組を考え、実行していきたい。